

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	Extensive Reading A		
英文授業科目名	Extensive Reading A		
開講年度	2007年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	酒井 邦秀		
居室	東1 - 716		

公開E-Mail	授業関連Webページ
sakaikunihide@bunka.uec.ac.jp	http://tadoku.org

<p>【主題および達成目標】</p> <p>(a) 主題：1、2年次の多聴多読を生かしたCritical Thinking 及びAutonomous Learning つまり、自分の現状と将来の夢をこの授業で結びつけるためにいま何をすべきかを考え、実行することです。</p> <p>(b) 達成目標：ひとりひとりが決めます。その際に、酒井がひとりひとりと相談します。 なお、昨年度はそうした相談の結果、教室では多読用図書や英字新聞を読む人、TOEIC対策をする人、Grammar in Useなどの英文文法書を進めていく人、インターネット・ラジオのシャドーイングをする人、またそれについてプレゼンテーションをする人など、実にさまざまな活動が行われました。</p>
--

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>酒井クラスを1年半以上（または同等の英文吸収量があること）。</p>
--

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>なし。</p>
--

電気通信大学 平成19年度シラバス

【教科書等】

いわゆる教科書などはありません。多聴・多読・シャドーイング用の素材は酒井が用意します。ただし、酒井の用意する本は毎年かなりの率で消えていきます。そこで、補充用に1学期につき1000円を集め、酒井の奨学寄付金講座に寄付し、それを多聴多読素材及び機器購入に当てます。

また、ひとりひとりが自分の歩みを記録し、酒井の助言の資料とするために、小さな手帳を購入してもらいます。

なお、この授業の参考書としては

「どうして英語が使えない？ 学校英語につける薬」酒井邦秀、ちくま学芸文庫

「快読100万語！ ペーパーバックへの道」酒井邦秀、ちくま学芸文庫

「教室で読む英語100万語」酒井邦秀、神田みなみ、大修館書店

があります。

【授業内容とその進め方】

一斉授業ではありません。教室ではひとりひとりが自分の作業をします。酒井は教室を回ってひとりひとりと話をしながら、目標達成の進捗状況をたずね、助言があれば、助言します。ただし、酒井または学生によるさまざまな機器を使ったプレゼンテーションなどをはさむこともあります。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

酒井と相談しながら個別にプロジェクトを推進していくので、成績評価方法は一つではなく、全員を通じた評価基準も具体的には示せませんが、酒井としては、学生ひとりひとりがいかに自分の現状を把握し将来を考え、そこからプロジェクトを作って、その実行を批判的に確認しながら修正していくかということを見て成績判断をします。

【オフィスアワー：授業相談】

課題の本または音声素材が終わったら研究室に取り替えに来てください。その際に研究室の戸を叩いて、様子を聞かせてください。

月曜日の午後

火曜日の午前午後

水曜日の午後から6限

木曜日の午後

金曜日の午後

電気通信大学 平成19年度シラバス

【学生へのメッセージ】

この上級科目を履修する人はすでに英語の獲得について、みずからの頭で考えて道を選び、みずからの足で前進できるようになっているはずです。将来、自分にとって英語がどんな役割を果たすか、それを常に意識しながら、academic Englishを獲得していきましょう。

【その他】